

平成25年11月6日

日本下水道事業団

平成25年度 日本下水道事業団表彰について

日本下水道事業団（J S）は、毎年当事業団の創立記念日（11月1日）にあわせて日本下水道事業団表彰として、（1）優良工事表彰、（2）優良設計表彰、（3）功労者（個人・団体）表彰の各表彰を行っています。今年度は、下記の日時、場所において表彰を行います。

なお、各表彰の詳細については別紙のとおりです。

記

日 時	： 平成25年11月8日（金）	10：30～	（1）優良工事表彰
			（2）優良設計表彰
		11：30～	（3）功労者表彰

場 所 ： 本社 表彰式々場（4階）

以上

(1) 優良工事表彰について

日本下水道事業団（J S）は、当事業団が発注し前年度に完成した工事に関し、その施工が優秀であって他の模範となる工事を毎年度優良工事として選定し、当該工事の施工業者を表彰することにより、施工業者の育成及び事業の円滑な推進を図っています。

平成25年度表彰における優良工事は別添資料-1及び2のとおりであり、当該工事の施工業者を日本下水道事業団表彰規程に基づき、平成25年11月8日（金）に当事業団本社において表彰します。

なお、今回の優良工事選定の対象となった完成工事及び選定された工事の件数は、次のとおりです。

選定対象工事件数及び優良工事件数

工 種	対象となった工事の件数	優良工事件数
土木建築工事	190	5
機 械 工 事	254	6
電 気 工 事	222	3
合 計	666	14

【お問い合わせ先】

日本下水道事業団

事業統括部 事業課長 松村 弘之

〒160-0004

東京都新宿区四谷三丁目3-1富士・国保連ビル

TEL: 03-6361-7829 (ダイヤルイン)

FAX: 03-3359-6370

別添資料－1 優良工事一覧表

番号	委託団体名	工事名	請負金額 (千円)	請負者	総合 事務所
1	北海道 室蘭市	室蘭市蘭東下水処理場 建設工事その18	25,609.5	大基建設 株式会社	北海道
2	福島県 広野町	広野町広野浄化センター 災害復旧建設工事	221,329.5	株式会社 加地和組	東北
3	福島県 新地町	新地町新地浄化センター 災害復旧電気設備工事	315,619.5	株式会社 ウォーターエージェンシー	東北
4	宮城県	阿武隈川下流流域下水道県南浄化センター 災害復旧電気設備工事	1,725,024.0	株式会社 明電舎	東北
5	富山県 入善町	入善町入善浄化センター 建設工事その12	363,478.5	飯作組・廣川建設工業 特定建設共同企業体	関東 北陸
6	石川県 白山市	白山市松任中央浄化センター 水処理設備工事その13	274,543.5	株式会社 IHI環境エンジニアリング	関東 北陸
7	埼玉県 秩父市	秩父市下水道センター 汚泥処理設備工事その3	272,454.0	水ing 株式会社	関東 北陸
8	静岡県	静清流域下水道静清浄化センター 建築機械設備工事	84,241.5	日管 株式会社	東海
9	岡山県 真庭市	真庭市久世中継ポンプ場 建設工事	208,288.5	梶岡・岡田 特定建設共同企業体	近畿 中国
10	広島県 広島市	広島市新千田ポンプ場 ポンプ設備工事その2	1,077,310.0	株式会社 荏原製作所	近畿 中国
11	愛媛県 西条市	西条市西条浄化センター 水処理設備工事その9	184,002.0	株式会社 西原環境	四国
12	大分県 杵築市	杵築市杵築終末処理場 水処理設備工事その2	150,685.0	株式会社 神鋼環境ソリューション	九州
13	福岡県 福岡市	福岡市新西部水処理センター 建設工事その6	488,260.5	アイサワ・矢西 特定建設共同企業体	九州
14	佐賀県 唐津市	唐津市浄水センター 電気設備工事その2	283,500.0	メタウォーター 株式会社	九州

別添資料－２ 優良工事紹介

1. 室蘭市蘭東下水処理場建設工事その１ 大基建設株式会社

〔工事概要〕

室蘭市蘭東下水処理場は、昭和 53 年より供用を開始し、全体計画処理能力、既設処理能力共に 48,000 m³/日の標準活性汚泥法の処理場である。本工事は、管廊部 E X P. J 継手の耐震補強工事である。

〔選定理由〕

本工事の施工場所は、管廊部の狭隘な箇所であり、施設を稼働しながら配管の切替工事を行うなど困難な工事であったが、受注者は、維持管理側や他工事と綿密な打合せを行い、処理機能を損なうことなく工事を進めた。管廊のスロープ部の勾配については、完成時の模型を作成し、スムーズな動線の向上に寄与するなど、創意工夫も見られた。作業足場、開口部などの危険箇所には注意喚起の表示を徹底するなど現場作業員への安全配慮についても優れていた。

以上のように、総合的品質が特に優れている本工事を、優良工事として選定した。

2. 広野町広野浄化センター災害復旧建設工事 株式会社加地和組

〔工事概要〕

広野浄化センターは、平成 5 年より供用を開始し、全体計画処理能力 2,600 m³/日のオキシデーションディッチ法の処理場である。本工事は、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災により被災した処理場の復旧と将来の津波対策を考慮した工事である。

〔選定理由〕

受注者は、津波で破壊された施設のカレキ撤去や清掃等、困難な作業を行いながら現場の詳細調査を進め、実態に即した工法等の提案を行ったほか、津波対策に有効な防水扉の施錠方法等の提案も行った。また、狭隘な処理場内で本工事以外にも機械、電気の災害復旧工事が行われていたが、業者間の綿密な工事調整を行うとともに、津波避難訓練や放射線の定期測定など、当被災地の特性を考慮した安全管理、健康管理を元請と下請けが一体で取り組んでいた。早期復旧が求められる中、工事書類や写真撮影等も工夫され、分かり易く整理がされていた。

以上のように、自然的、社会的な施工条件が極めて困難な工事を優れた技術力により克服した本工事を優良工事として選定した。

3. 新地町新地浄化センター災害復旧電気設備工事 株式会社ウォーターエージェンシー

〔工事概要〕

新地浄化センターは、平成 12 年より供用を開始し、全体計画処理能力 3,650m³/日、既設処理能力 2,600 m³/日のオキシデーションディッチ法の処理場である。今回の工事は、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災により被災した処理場の復旧を行ったものである。

〔選定理由〕

本処理場は、東日本大震災にて被災した場所であり、侵入仮設道路は大雨のたびに冠水して進入困難になり、さらに敷地等に瓦礫及び汚泥が散乱する中、狭隘な工事箇所での建設工事、機械設備工事、電気設備工事が平行して施工を行いながら、限られた復旧期間の中での完成を求められるという非常に困難な工事であった。

受注者は、同時施工となる機械設備工事、電気設備工事との調整を積極的に行い、主体となって計画及び工事を進めた。津波で流失した中継ポンプ場までの仮設電源ルートを独自に工夫して、

道路再構築の支障にならない施工方法、工期短縮のため既設埋設管再利用詳細調査等を行うなど、創意工夫された提案が多数見受けられた。

以上のように、自然的、社会的な施工条件が極めて困難な工事を優れた技術力により克服した本工事を優良工事として選定した。

4. 阿武隈川下流域県南浄化センター災害復旧電気設備工事 株式会社明電舎

〔工事概要〕

県南浄化センターは、昭和 60 年に供用を開始し、全体計画処理能力 147,200 m³/日、既設処理能力 125,000 m³/日の標準活性汚泥法の処理場である。本工事は 2011 年 3 月 11 日の東日本大震災により被災した処理場の復旧を行ったものである。

〔選定理由〕

受注者は、事前に維持管理者との打合せを数多く実施し、単純な現況復旧を行うだけでなく、工事の範疇で設備運転方法の見直しや不具合事項の修正を行うなど、より良いものとして工事を完成させた。また、多くの施工業者が錯綜しての作業中、安全衛生協議会の代表幹事として浄化センター全体の工事とりまとめに尽力し、工程調整はもとより避難訓練や合同パトロールなど様々の活動を積極的に実行し、無事故無災害で完了させた。

品質・工程・できばえ・書類等、工事全体にわたって優れた工事であり、維持管理のし易さと安全面も考えた施工が行われている。

以上のように、総合的品質が特に優れている本工事を、優良工事として選定した。

5. 入善町入善浄化センター建設工事その 1 2 飯作組・廣川建設工業特定建設共同企業体

〔工事概要〕

入善浄化センターは、平成 13 年に供用を開始し、全体計画処理能力 15,600 m³/日、既設処理能力 10,000 m³/日のオキシデーションディッチ法の処理場である。本工事は、水処理施設及び水処理棟の増設工事である。

〔選定理由〕

本浄化センターの既設水処理施設の上部は、パークゴルフ場として地元住民に広く利用されており、水処理施設の増設のため、広範囲に地盤を掘削し、多量の生コンを打設する本工事では、第三者の立入事故や交通事故などが懸念されていた。受注者は、現場全周の仮設フェンス設置、掘削法面保護や落石等の防止のためネット養生、住民への工事情報の積極的な提供、工事車両走行ルート上の交通巡視員の配置、安全巡視パトロールカーの配備等を積極的に行い、無事故で工事を完成させた。また、現場の熱中症対策に創意工夫も見られるなど、作業員の安全管理にも優れていた。

以上のように、当該工事の施工中における安全管理に対する対応が特に優れている本工事を優良工事として選定した。

6. 白山市松任中央浄化センター水処理設備工事その 13 株式会社 IHI 環境エンジニアリング

〔工事概要〕

松任中央浄化センターは昭和 60 年に回転生物接触法により供用を開始し、現在は段階的に標準活性汚泥法へ処理方式の変更を進めており、全体計画処理能力 35,000 m³/日、既設処理能力 21,000 m³/日の処理場である。本工事は、水処理施設の増設工事及び用水設備の改築更新工事である。

〔選定理由〕

受注者は、将来の維持管理性を考慮した動線を確保や作業性や安全性を配慮した設計・施工を行い、出来栄えも良く、全体的に高品質であった。井戸ポンプの更新にあたっては、水中カメラによる既存状況の詳細把握や水質調査を行い、飲用と雑用の系統別に適切な配管や設備を追加したほか、既設設備や場内の清掃も自発的に実施し、処理場環境の改善にも貢献した。

以上のように、総合的品質が特に優れている本工事を優良工事として選定した。

7. 秩父市下水道センター汚泥処理設備工事その3 水ing株式会社

〔工事概要〕

秩父市下水道センターは、昭和55年に供用開始し、分流式では、全体計画能力17,400 m³/日、既設処理能力17,530 m³/日、合流式では、雨天時全体計画能力39,800 m³/日の標準活性汚泥法の処理場である。本工事は、汚泥濃縮設備、脱臭設備の更新工事及び場内整備工事である。

〔選定理由〕

受注者は、汚泥濃縮設備更新において、最初沈殿池を仮設汚泥濃縮施設としての使用を提案し、更新工事施工中の既設汚泥消化設備の安定運転に寄与した。また、脱臭設備更新においては、施設管理者や関係業者と工程調整を重ね、脱臭装置の一斉更新を実施することにより、全体工期を3ヶ月短縮させている。場内整備においても、施設監理者と積極的な調整を行い、施設や管理道路の位置を変更等により、維持管理性の向上を図った。

以上のように、優れた創意工夫により、工期の短縮、維持管理性の向上等を達成した本工事を優良工事として選定した。

8. 静清流域下水道静清浄化センター建築機械設備工事 日管株式会社

〔工事概要〕

静清浄化センターは、平成9年6月に供用を開始し、全体計画処理能力134,000 m³/日、既設処理能力67,000 m³/日の標準活性汚泥法による処理場である。今回工事は、水処理棟及び汚泥処理棟増設に付帯する建築機械設備工事である。

〔選定理由〕

当該処理場の増設工事は、7業者が同時に施工を行う状況であり、現場が錯綜する中、工期遵守と安全施工が求められた。受注者は、一般的にアルミクロスで施工する冷媒配管をステンレスラッキングで施工するなど、施工性向上による工期短縮を図るとともに、強度や耐食性を向上させた。また、日常の点検等を容易にするため、送風機点検口の追加やダクト経路の見直しを検討し、ダクト補強材の増強やチャンバ板材を厚くする工夫により、運転時の振動抑制を行うなど、設備の維持管理性と品質向上を図っている。

以上のように、優れた創意工夫により、工期の短縮や維持管理性の向上等を達成した本工事を優良工事として選定した。

9. 真庭市久世中継ポンプ場建設工事 梶岡・岡田特定建設共同企業体

〔工事概要〕

久世中継ポンプ場は、平成24年5月に完成した7 m³/分の処理能力を有する新設のポンプ場である。本工事は、当該ポンプ場の躯体構築工事である。

〔選定理由〕

本工事箇所は、狭隘なうえ、市役所などの公共施設に囲まれた立地のため、制約された作業ス

ペースという条件の下、住民の公共施設利用に対して十分な配慮が必要であった。このため、住民の施設利用の状況等を十分に把握し、資材置場や重機の配置等に詳細な検討を行い、施工計画に反映させるとともに、徹底した整理整頓を行い、安全性と利便性を確保した施工を行った。生コン打設においては、ミキサー車の配置や作業員の動きを考慮した詳細な打設計画をもとに品質管理に努めた結果、十分な止水性能を確保した出来栄の良い躯体が仕上がっている。

以上のように、総合的品質が特に優れている本工事を優良工事として選定した。

10. 広島市新千田ポンプ場ポンプ設備工事その2 株式会社荏原製作所

〔工事概要〕

新千田ポンプ場は、平成21年3月に完成した、全体計画流入量 $52.6\text{ m}^3/\text{秒}$ 、既設流入量 $14\text{ m}^3/\text{秒}$ の処理能力を有する浸水対策大型ポンプ場である。本工事は、主ポンプ設備の増設工事である。

〔選定理由〕

本工事は、大規模ポンプ施設の稼働中の増設工事であり、大雨時には多量の雨水が流入するなどの危険が存在する中、既存機能及び運転管理への影響を考慮した慎重な施工が必要であった。受注者は、着手前に徹底した現地調査を行い、雨水幹線からの雨水流入による設備冠水の危険に対し、機械室内に仮設止水壁を設置する対策や、雨水着水井内で工法の変更による作業時間短縮を図るなど、安全性や効率性の高い施工を行った。そのほか、施設内の滞留水処理に伴う硫化水素事故対策や、大雨を想定した作業員の避難訓練を定期的実施するなど、高い安全意識があった。

以上のように、自然的、社会的な施工条件が極めて困難な工事を優れた技術力により克服した本工事を優良工事として選定した。

11. 西条市西条浄化センター水処理設備工事その9 株式会社西原環境

〔工事概要〕

西条浄化センターは昭和60年に供用を開始し、全体計画処理能力 $59,000\text{ m}^3/\text{日}$ 、既設処理能力 $31,500\text{ m}^3/\text{日}$ の標準活性汚泥法による処理場である。本工事は、消毒設備の改築更新を行ったものである。

〔選定理由〕

本工事は、放流水処理を次亜塩消毒方式から紫外線消毒方式に全面更新する工事であり、既存施設の機能及び運転管理への影響を考慮した施工が必要であった。このため、着手前に流入水量の正確な把握と、施設内の躯体および堰や水路等の詳細な構造等を調査し、仮設配管の口径変更や仕切り区間の位置変更等を提案し、安全性と機能性の確保を図った。また、紫外線ランプの交換を容易にする電動式吊上げ装置の採用や、長寿命省電力の高性能機器の採用など、維持管理性の向上も図っている。

以上のように、優れた創意工夫により、維持管理性の向上等を達成した本工事を優良工事として選定した。

12. 杵築市杵築終末処理場水処理設備工事その2 株式会社神鋼環境ソリューション

〔工事概要〕

杵築終末処理場は、平成12年に供用を開始し、全体計画処理能力 $4,100\text{ m}^3/\text{日}$ のオキシデーシオンディッチ法による処理場である。本工事は、水処理施設の増設工事である。

〔選定理由〕

受注者は、現地着工前から他工事受注者との全体工程及び躯体各所寸法等の確認調整を徹底することにより、土木の躯体配筋時に機器基礎ボルトを先行での設置を行うことや、移設するスクリーンユニットの自主点検整備を積極的に行うなど、細部に渡り品質の向上を図った。また、汚水配管の切替工事では、既設配管の状況や施設全体の安定稼働を考えながら仮設計画の見直しを行い、段階的施工による短時間での切替工事を行い、汚水管にドレン機能を持たせることなど、維持管理性の向上も図っている。

以上のように、総合的品質が特に優れている本工事を、優良工事として選定した。

1 3. 福岡市新西部水処理センター建設工事その6 アイサワ・矢西特定建設共同企業体

〔工事概要〕

新西部水処理センターは、供用開始を目指し、全体計画処理能力 77,000m³/日のうち、第1期として 15,400m³/日に対応する処理施設を現在施工中である。本工事は、第1期処理施設の汚泥濃縮棟の土木工事である。

〔選定理由〕

発注時の掘削は、遮水矢板とスーパーウェルポイントを併用した「法切オープンカット工法」であったが、矢板の打設箇所の地質が悪く、工期に遅れがでる見込みとなってしまった。受注者は、「地中連続壁工法」の採用と汚泥濃縮棟と接続管廊のコンクリート同時打設による工法変更を提案、実施したことにより、工事費削減と工期短縮が図られ、また、細やかな施工管理を行った結果、懸念されていた周辺地域への地下水の影響も回避することができた。その他に、躯体施工において、コンクリート高性能収縮低減材塗布、耐アルカリ性ガラス繊維ネット設置、高性能防水材料等、徹底したひび割れ対策を実施し、出来栄も良好であった。

以上のように、優れた創意工夫により、著しい工事費の低減、工期の短縮等を達成した本工事を優良工事として選定した。

1 4. 唐津市浄化センター電気設備工事その2 メタウォーター株式会社

〔工事概要〕

唐津市浄化センターは、昭和 58 年に供用を開始し、全体計画処理能力 36,970 m³/日、既設処理能力 33,000 m³/日の標準活性汚泥法による処理場である。本工事は汚泥処理施設改築更新に係わる電気設備工事である。

〔選定理由〕

本工事は、施設の運転を継続しながら行う改築更新工事で、他工事も含めた施工者や維持管理者、見学者等に対し、安全への配慮が重要となることから、受注者は自主的に設備安全衛生協議連絡会を設置し、関係者合同の安全パトロールを行う等、連絡会の会長として、自社、他社を問わず、日々の現場の安全管理を推進した。また、災害、事故を想定した模擬訓練や、工事関係者を消防署に集めて救急救命講習会を開催するなど、積極的な安全教育を行なっている。

以上のように、当該工事の施工中における安全管理に対する対応が特に優れている本工事を、優良工事として選定した。

(2) 優良設計表彰について

日本下水道事業団（J S）は、当事業団が発注し前年度に完了した基本設計及び基本設計の見直しを含む実施設計の中から、総合的品質が特に優れているものの他、難度の高い設計条件の克服、施設に求められる機能の達成・向上、コスト縮減、周辺環境との調和のいずれかにおいて、設計業者の技術力・創意工夫により優れた成果をあげた設計を毎年度優良設計として選定し、当該設計の受託業者を表彰することにより設計業者の育成及び事業の円滑な推進を図っています。

平成25年度表彰における優良設計は別添資料-3及び4のとおりであり、当該設計の受託業者を日本下水道事業団表彰規程に基づき、平成25年11月8日（金）に当事業団本社において表彰します。

なお、今回の優良設計選定の対象となった完了設計及び選定された設計の件数は、次のとおりです。

選定対象設計件数及び優良設計件数

設計業務	対象となった設計の件数	優良設計数
実施設計（基本設計）	22	2

【お問い合わせ先】

日本下水道事業団

事業統括部 事業課長 松村 弘之

〒160-0004

東京都新宿区四谷三丁目3-1富士・国保連ビル

TEL: 03-6361-7829(ダイヤルイン)

FAX: 03-3359-6370

別添資料－3 優良設計一覧表

番号	委託団体名	業務委託名	委託業務料 (単位:千円)	受託者名	担当設計 センター
1	神奈川県 湯河原町	湯河原町浄水センター実施設計業務委託	11,970.0	株式会社 日水コン	東日本
2	佐賀県 小城市	小城市仁俣中継ポンプ場実施設計業務委託	13,398.0	株式会社 東京設計事務所	西日本

別添資料－4 優良設計紹介

1. 平成 24 年度湯河原町浄水センター実施設計業務委託 株式会社日水コン

〔設計概要〕

本業務は、湯河原町浄水センターの汚泥焼却設備再構築に係る基本設計である。

〔選定理由〕

本業務では、周辺住民との関係から脱水汚泥の場外搬出ができず、新しい汚泥焼却施設を建設してから、既設焼却施設を撤去する方針であった。そのため、新汚泥焼却炉棟及び焼却設備の建設予定スペースが狭隘であること、町の条例での建築物の高さ制限、維持管理導線と建設予定スペースと錯綜することなど、さまざまな条件や課題がある上に、委託団体からも省エネルギー化及び温室効果ガス削減等が求められていた。

受注者は、これらをふまえた上で、CO₂ 削減や電力、燃料費の削減を考慮し新技術を含めた汚泥焼却方式の検討を行い、意欲的に作業を行った。また、比較検討資料はわかりやすくまとめられており、委託団体担当者が理解しやすい資料となっていた。

以上のように、優れた創意工夫により、当該設計対象施設の周辺環境との調和を図り、もって優れた成果をあげた本業務を優良設計として選定した。

2. 平成 24 年度小城市仁俣中継ポンプ場実施設計業務委託 株式会社東京設計事務所

〔設計概要〕

本業務は、小城市の下水道処理区再編計画により、小城地区から発生する汚水を市内の 2 箇所の浄化センターで集約処理を行うこととなったことを受け、新たに必要となった汚水中継ポンプ場の基本設計である。

〔選定理由〕

本業務では、受け入れ先の三日月浄化センター及び牛津浄化センターの流入渠の構造計画及び硫化水素対策の検討や、圧送先が 2 処理場になることを考慮した効率的で運転が容易な施設計画、周囲と調和したポンプ棟立面計画など、十分な現地調査のもとに基本条件の整理を行い、委託団体の要望や提案などに対しても積極的に的確な対応がなされ、高い信頼を得られた。また、ポンプ場建設地の現況が農地であり農業用水路に隣接している等関係機関との協議・調整が多く、農作物の収穫や教育委員会による文化財（埋設物）調査のため、地質調査の着手が遅れるなど、タイトなスケジュールでの作業となったが、工期を遵守し、成果物としても適切な内容であった。

以上のように、優れた技術力で設計を行い、総合的品質に特に優れていた本業務を優良設計として選定した。

(3) 功労者表彰について

日本下水道事業団（J S）は、当事業団の事業の発展に貢献された個人及び団体に対し、毎年度感謝の意を表することとしています。

本年は、長年にわたりその功績が顕著な個人33名（別添資料参照）を日本下水道事業団表彰規程に基づき、平成25年11月8日（金）に当事業団本社において表彰します。

【お問い合わせ先】

日本下水道事業団

経営企画部人事課長 金子 祐造

〒160-0004

東京都新宿区四谷三丁目3-1 富士・国保連ビル

TEL:03-6361-7813(ダイヤルイン)

FAX:03-3359-6363

【外部功労者】

33名

氏名	主な経歴	表賞理由
なかにし もりお 中西 盛雄	前 室蘭市公営企業管理者水道部長	長年事業団の業務に御貢献
おのでら のぼる 小野寺 伸	前 気仙沼市建設部長	同上
いとう まさき 伊藤 雅樹	前 秋田県秋田地域振興局建設部長	同上
かわい くにひろ 川井 邦宏	前 秋田県建設部下水道課長	同上
みやうち てるお 宮内 彰郎	前 千葉市建設局下水道管理部技監	同上
おがわ けんいち 小川 健一	前 東京都下水道局長	同上
なかさと たかし 中里 隆	前 東京都下水道局流域下水道本部技術部長	同上
なかつぼ ゆうじ 中坪 雄二	前 東京都下水道局施設管理部排水設備課長	同上
いとう よしはる 伊藤 美治	前 東京都下水道局東部第一下水道事務所管路施設課長	同上
おかだ ひとし 岡田 均	前 新潟市東部地域下水道事務所長	同上
こやま かずよし 小山 和義	前 長野市上下水道局長	同上
よしだ きよみ 吉田 清美	前 長野市上下水道局技幹兼業務課長	同上
まるやま けさお 丸山 今朝雄	前 松本市上下水道局長	同上
さくらい くにひこ 櫻井 邦彦	前 中津川市水道部長	同上
かとう たかひろ 加藤 隆弘	前 静岡市上下水道局下水道部長	同上
もり れいじ 森 令治	前 愛知県尾張建設事務所企画調整監	同上

氏 名	主な経歴	表 賞 理 由
なかやま よしのり 中山 義則	前 名古屋市上下水道局施設部長	長年事業団の業務に御貢献
ひしかわ ひろし 菱川 宏	前 一宮市上下水道部長	同上
むらばやし さとる 村林 悟	元 東海市水道部長	同上
こんどう ひろあき 近藤 博明	前 東海市水道部長	同上
いまほり よしかず 今堀 吉一	前 滋賀県琵琶湖環境部技監(下水道担当)	同上
すずき ひでお 鈴木 秀男	前 京都市上下水道局技術長	同上
やの りゅういち 矢野 隆一	前 舞鶴市下水道部長	同上
おおや ひろかず 大屋 弘一	前 大阪府都市整備部下水道室長	同上
むらかみ ひさし 村上 契史	前 大阪市環境局技術監兼施設部施設管理課長	同上
もりた よしお 森田 祥夫(故人)	前 堺市上下水道事業管理者	事業団の業務に特に顕著な御功績
まさい けいじ 政井 恵治	前 神戸市建設局西神施設担当部長	長年事業団の業務に御貢献
かとう かつしげ 加藤 勝茂	元 鳥取市環境下水道部長	同上
いざわ まさあき 伊澤 眞昭	前 広島市安佐南区農林建設部長	同上
まつうら あきお 松浦 昭夫	前 福山市建設局土木部長	同上
よしだ ひろし 吉田 広	前 徳島市土木部長	同上
げんだい としお 源代 俊夫	前 新居浜市建設部長	同上
かわた ひろみ 川田 博見	前 福岡市西区地域整備部長	同上